AV Board
ハードウェアマニュアル

SIV00-U00

Version 1.0.7
2010/09/17

株式会社アットマークテクノ [http://www.atmark-techno.com]

SUZAKU 公式サイト [http://suzaku.atmark-techno.com]

AV Board ハードウェアマニュアル

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F
TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570

製作著作 © 2008-2010 Atmark Techno, Inc.

Version 1.0.7
2010/09/17

目次

1. はじめに 6
2. 注意事項 7
2.1. 安全に関する注意事項 7
2.2. 取り扱い上の注意事項 7
2.3. FPGA 使用に関しての注意事項 8
2.4. ソフトウェア使用に関しての注意事項 8
3. 型式 9
4. 仕様 10
4.1. 最大定格 10
4.2. 仕様 10
5. 作業の前に 11
5.1. 開発に必要なもの 11
5.1.1. 必須 11
5.2. 開発環境 12
5.2.1. FPGA の開発を行う場合必要 12
5.3. ダウンロードする必要のあるもの 12
5.3.1. 必須 12
5.3.2. FPGA の開発を行う場合必要 13
5.3.3. Linux ソフトウェアの開発を行う場合必要 13
5.4. その他必要となる資料 13
6. 電源 17
6.1. 電源系統について 17
7. ブロック図 18
7.1. SIV00-U00 ブロック図 18
8. 各種インターフェース仕様 19
8.1. 各種インターフェースの配置 19
8.2. CON2 SUZAKU 接続コネクタ 20
8.3. CON3 SUZAKU 接続コネクタ 21
8.4. CON4 CONFIG 用コネクタ 22
8.5. CON5 +5V 入力コネクタ 23
8.6. CON6 +5V DC-Jack 23
8.7. CON7 AV 入力コネクタ 23
8.8. CON7 AV 出力コネクタ 24
8.9. CON9 マイクロホン入力 24
8.10. CON10 ヘッドホン出力 24
8.11. CON11 AV 予備入力 コネクタ 25
9. ビデオ出力フィルタ 26
10. 基板形状図 27

図目次

5.1. 4 極ミニプラグ-RCA ピンプラグ×3 ケーブル 11
6.1. 電源系統図 17
7.1. SIV00-U00 ブロック図 18
8.1. 各種インターフェースの配置 19
9.1. フィルタ部の回路 26
10.1. 基板形状 27
10.2. スタック時の形状 28

表目次

4.1. SIV00-U00 最大定格 10
4.2. SIV00-U00 仕様 10
5.1. 開発に必要となるもの 15
8.1. 各種インターフェースの内容 19
8.2. CON2 SUZAKU 接続コネクタ 20
8.3. CON3 SUZAKU 接続コネクタ 21
8.4. CON4 CONFIG 用 22
8.5. CON5 +5V 入力コネクタ 23
8.6. CON5 +5V 入力コネクタ 23
8.7. CON8 AV 入力コネクタ 23
8.8. CON8 AV 出力コネクタ 24
8.9. CON9 マイクロホン入力 24
8.10. CON10 ヘッドホン出力 25
8.11. CON11 AV 予備入力コネクタ 25
9.1. 部品および作業 26

1.はじめに

本マニュアルには SUZAKU I/O シリーズの AV ボードについて、ハードウェアの仕様や使用方法を記載しております。

SUZAKU I/O シリーズは現在、LED/SW、A/D、AV ボードから構成されるシリーズです。SUZAKU ボードを使った開発をより容易に速く行えるように、基板単体だけではなく回路図、ドライバ、FPGA の IP コアを一緒に提供しております。ボードをそのままご使用いただいても構いませんが、これらの資料を元に、回路変更、機能付加、IP コアやソフトウェアのカスタマイズなどを行い、ニーズにあった SUZAKU の新たな拡張ボードを開発するための手助けになればと考えております。

AV ボードの機能を最大限に引き出すために、本マニュアルをご活用いただければ幸いです。

まだ SUZAKU ボードを一度も使ったことがない、分からない、という方は『SUZAKU スターターキットガイド』も合わせてご参照ください。SUZAKU スターターキットガイドでは、LED/SW ボードを使用し、SUZAKU の基本的な使い方を 1 から丁寧に解説しております。

なお、AV ボードは SZ410-U00、SZ130-U00 のみ対応です。SZ010-U00, SZ030-U00, SZ310-U00 には対応しておりませんのでご注意ください。

2.注意事項

2.1. 安全に関する注意事項

安全にご使用いただくために、特に以下の点にご注意くださいますようお願いいたします。

本製品には一般電子機器用 (ＯＡ機器・通信機器・計測機器・工作機械等) に製造された半導体部品を使用していますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置 (医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等) に組み込んで使用したりしないでください。また、半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性があります。ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計 (リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等) に万全を期されますようお願い申しあげます。

2.2. 取り扱い上の注意事項

劣化、破損、誤動作、発煙、発火の原因となることがあります。取り扱い時には以下のような点にご注意ください。

入力電源	+5V±5%以上の電圧を入力しないでください。また、極性を間違わないでください。
インターフェース	各インターフェースには規定以外の信号を接続する、信号の極性・入出力方向を間違う等しないでください。
本製品の改造	本製品について改造を行った場合は保証の対象外となりますので、十分にご注意ください。(※コネクタ非搭載箇所へのコネクタ等の増設を除く。) なお、改造を行う場合は、改造前の動作確認を必ず行うようお願いします。 また、コネクタを増設する際にはマスキングを行い、周囲の部品に半田くず、半田ボール等付着しない様十分にご注意ください。
FPGA プログラム	周辺回路 (ボード上の部品も含む) と信号の衝突 (同じ信号に 2 つのデバイスから出力する) を起こすような FPGA プログラムを行わないでください。 また、間違ったデータを書き込まないようご注意ください。機器が破損する恐れがあります。
電源の投入	AV ボードや周辺回路に電源が入っている状態では絶対にコネクタの着脱を行わないでください。

静電気	AV ボードには CMOS デバイスを使用していますので、ご使用になるまでは帯電防止対策のされている、ご購入時のパッケージ等にて保管してください。
ラッチアップ	電源および入出力からの過大なノイズやサージ、電源電圧の急激な変動等で使用している CMOS デバイスが ラッチアップを起こす可能性があります。いったんラッチアップ状態となると、電源を切断しないかぎりこの状態が維持されるため、デバイスの破損につながることがあります。ノイズの影響を受けやすい入出力ラインには保護回路を入れることや、ノイズ源となる装置と共通の電源を使用しない等の対策をとることをお勧めします。
衝撃、振動	落下や衝突などの強い衝撃を与えないでください。 振動部や回転部などへの搭載はしないでください。強い振動や遠心力を与えないでください。
高温低温、多湿	極度に高温や低温になる環境や、湿度が高い環境では使用はしないでください。
塵埃	塵埃の多い環境では使用しないでください。
SUZAKU の+3.3V 外部電源入力 (CON6)	SUZAKU の+3.3V 外部入力 (CON6) に電源を供給せず、AV ボードの外部入力 (CON5 もしくは CON6) から電源供給してください。

2.3. FPGA 使用に関しての注意事項

本製品に含まれる FPGA プロジェクトについて	本製品に含まれる FPGA プロジェクト (付属のドキュメント等も含みます) は、現状のまま (AS IS) 提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。 本製品は、ベンダのツール (Xilinx 製 EDK、ISE やその他ベンダツール) やベンダの IP コアを利用し、FPGA プロジェクトの構築、コンパイル、コンフィグレーションデータの生成を行っておりますが、これらツールに関しての販売、サポート、保証等は行っておりません。

2.4. ソフトウェア使用に関しての注意事項

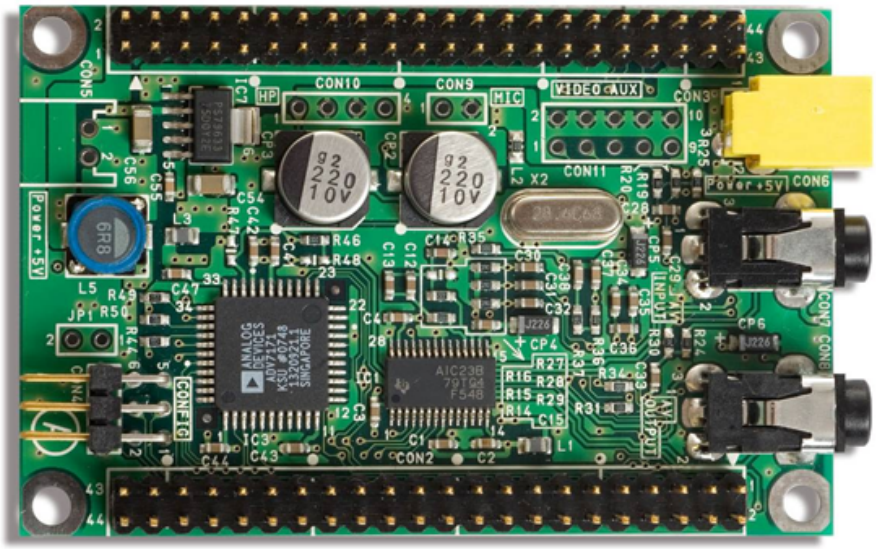
本製品に含まれるソフトウェアについて	本製品に含まれるソフトウェア (付属のドキュメント等も含みます) は、現状のまま (AS IS) 提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

3.型式

AV ボードの型式について説明します。

- SIV00-U00

  AV ボード単体です。



SIV00-U00 には、SUZAKU 開発に必要となる、下記のものは含まれておりませんのでご注意ください。下記は SUZAKU-S スターターキットもしくは SUZAKU-V スターターキットをご購入いただくと、セットで付属しております。

- SUZAKU ボード 40 ピンソケット付き (SZ130-U00 または SZ410-U00)
- CD-ROM
- AC アダプタ 5V
- D-Sub9 ピン-10 ピン変換ケーブル
- D-Sub9 ピンクロスケーブル

4.仕様

4.1. 最大定格

表 4.1 SIV00-U00 最大定格

電源電圧		-0.3V ～ +6V
アナログ入力	Video	-0.3V ～ +4.2V
	Audio	Line：-0.3V ～ +7.2V
ディジタル入力 (SUZAKU からの入力)		-0.3V ～ +3.6V (AV ボードに定格+5V の電源が供給されている場合) (AV ボードに+5V の電源が供給されていない状態での入力は不可)
周囲温度		0℃ ～ +60℃

4.2. 仕様

表 4.2 SIV00-U00 仕様

Video	対応規格	NTSC
	入力抵抗	75Ω
	入力レンジ	1.92Vp-p
	Decoder IC	ADV7180 (アナログデバイセス)
	出力抵抗	75Ω
	出力レンジ	48mV ～ 1268mV
	Encoder IC	ADV7171 (アナログデバイセス)
Audio	Line 入力レンジ (LR)	$1V_{RMS}$
	Line 出力レンジ (LR)	$1V_{RMS}$
	マイクロホン入力	コンデンサマイク
	ヘッドホン最大出力 (LR)	30mW (32Ω), 40mW (16Ω)
	Codec IC	TLV320AIC23B (テキサスインスツルメンツ)
	対応サンプリング	8k,32k,48k,96kHz (44.1kHz 系は未サポート)
AV コネクタ		4 極 3.5mm ピンジャック 2 個使用 (入力/出力用)
入力電源電圧		+5V±5%
消費電流		300mA
サイズ		72 × 47 mm (SUZAKU と同サイズ)
SUZAKU ユーザ IO 使用数		31 ピン
SUZAKU 供給電源		3.3V 1.2A 供給回路搭載
対応 SUZAKU ボード		SZ130-U00, SZ410-U00

5.作業の前に

5.1. 開発に必要なもの

開発に必要となるものを以下に示します。

5.1.1. 必須

- 作業用 PC(シリアルポート 1 ポートがあること)[1]
- SUZAKU ボード 40 ピンソケット付き

  (SUZAKU-S : SZ130-U00 もしくは SUZAKU-V : SZ410-U00)
- AC アダプタ 5V
- D-Sub9 ピン-10 ピン変換ケーブル
- D-Sub9 ピンクロスケーブル
- ジャンパプラグ 2 個
- NTSC 信号を入出力可能な装置(RCA ピンジャック入出力のあるもの)
- 音声の Line 入出力が可能な装置(RCA ピンジャック入出力のあるもの)
- 4 極ミニプラグ-RCA ピンプラグ×3 ケーブル 2 本(詳細につきましては「8.7. CON7 AV 入力コネクタ」をご参照ください)

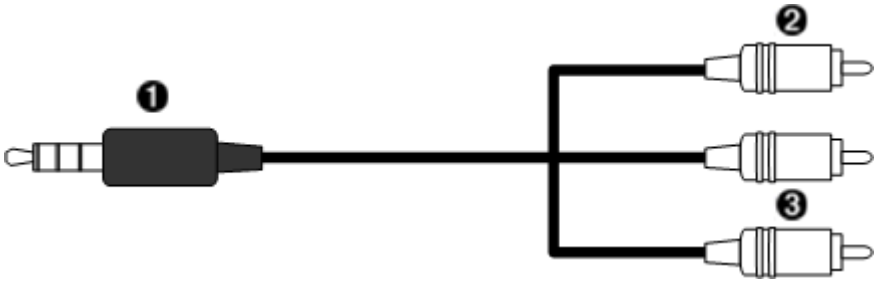


図 5.1 4 極ミニプラグ-RCA ピンプラグ×3 ケーブル

❶ 4 極ミニプラグ(ビデオ・オーディオ用)

❷ ピンプラグ(ビデオ用)

❸ ピンプラグ×2(オーディオ用)

[1]Linux のソフトを開発する場合は Linux が必要となります。FPGA を開発する場合にはパラレルポート 1 ポートが必須となります。

SZ010-U00, SZ030-U00, SZ310-U00 には対応しておりませんのでご注意ください

5.2. 開発環境

インストールが必要なソフトウェアおよびツールを以下に示します。ソフトウェアのインストール後は必ずソフトウェアアップデートを行ってください。Xilinx 製品の詳細については、Xilinx のホームページ [http://www.xilinx.co.jp]をご覧になられるか、Xilinx 代理店にお問い合わせください。

5.2.1. FPGA の開発を行う場合必要

- Xilinx ISE
- Xilinx EDK
- Xilinx Plarform Cable USB またはそれ相当品

5.3. ダウンロードする必要のあるもの

開発するにあたって、ダウンロードする必要のあるものを以下に示します。SUZAKU 公式サイトのダウンロードページ [http://suzaku.atmark-techno.com/downloads/all]から最新版を入手して下さい。これらは、SUZAKU-S スターターキットもしくは SUZAKU-V スターターキットを購入すると、付属 CD-ROM に収められています。ただし、付属 CD-ROM の中身は不具合修正、機能追加のためアップデートされますので、最新版をダウンロードサイトでダウンロードすることをお勧めいたします。

5.3.1. 必須

SUZAKU スターターキットガイド FPGA 開発編および Linux 開発編	SUZAKU で開発するために必要となる作業や知識について説明しています。初めて SUZAKU をお使いになる場合はご一読ください。
SUZAKU ハードウェアマニュアル	ご使用の SUZAKU ボードのものをダウンロードしてください。SUZAKU のハードウェアについて記載しております。
SIV00-U00 回路図	AV ボードの回路図です。
SIV00-U00 部品表	AV ボードの部品表です。

5.3.2. FPGA の開発を行う場合必要

SUZAKU のデフォルト FPGA プロジェクト	
IP コア	OPB バスをご使用の場合 OPB-SIV00 ： OPB バス専用のビデオの IP コアです。 OPB-SIA00 ： OPB バス専用のオーディオの IP コアです。 PLB バスをご使用の場合 XPS-SIV00 ： PLB バス専用のビデオの IP コアです。 XPS-SIA00 ： PLB バス専用のオーディオの IP コアです。
それぞれの IP コアの Data Sheet	

5.3.3. Linux ソフトウェアの開発を行う場合必要

Linux ソフトウェア開発環境、ソースコード	SUZAKU の Linux ソフトウェアを開発するために必要な開発環境やソースコードです。
SUZAKU ソフトウェアマニュアル	SUZAKU のソフトウェアについて記載しております。
uClinux-dist 開発者ガイド (SZ130 の場合)	
Atmark Dist 開発者ガイド (SZ410 の場合)	SUZAKU の Linux ソフトウェアの開発方法等について記載しております。
SUZAKU I/O AV ボード ソフトウェアマニュアル	AV ボードのソフトウェアマニュアルです。

5.4. その他必要となる資料

その他、開発するにあたって必要となる資料を以下に示します。各社ホームページ等から入手してください。

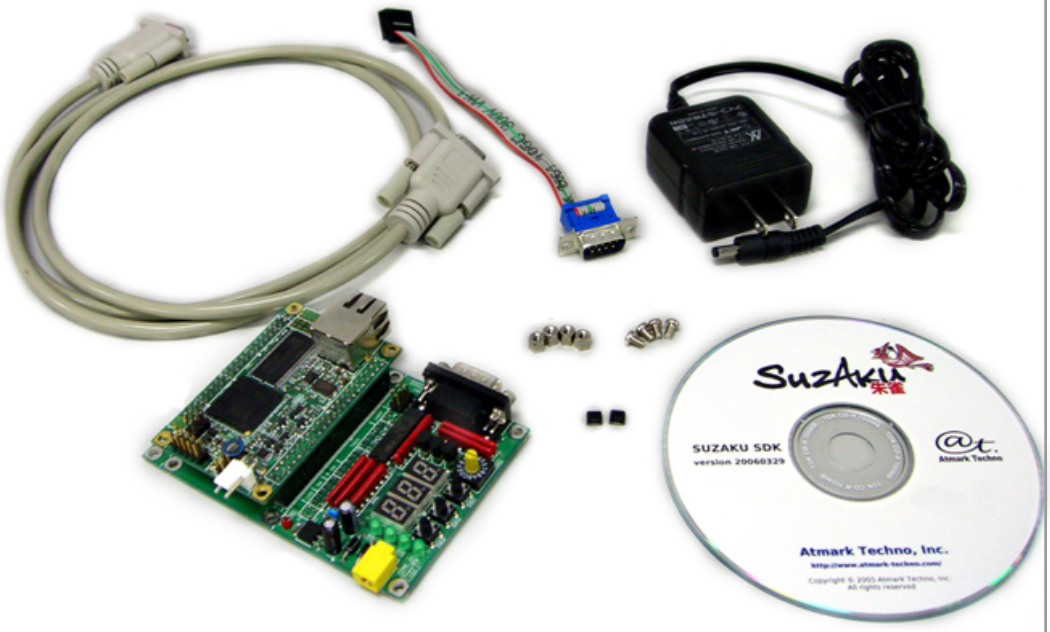
アナログデバイセス ADV7180 DataSheet	AV ボードで使用している Video Decoder IC のデータシートです。
アナログデバイセス ADV7171 DataSheet	AV ボードで使用している Video Encoder IC のデータシートです。
テキサスインスツルメンツ TLV320AIC23B DataSheet	AV ボードで使用している Audio Codec IC のデータシートです。

SUZAKU スターターキット(別売)

SUZAKU スターターキットには AV ボードを動かすために必要な SUZAKU ボード、各種付属品が含まれています。(NTSC 信号を入出力可能な装置、音声の Line 入出力が可能な装置、4 極ミニプラグ-RCA ピンプラグ×3 ケーブル 2 本を除く)

また、スターターキット付属 CD-ROM にはスターターキットガイドが収録されています。スターターキットガイドには SUZAKU のブロック図や機能、コンフィギュレーション方法、ISE・EDK の簡単な使い方、SUZAKU のデフォルト FPGA プロジェクトなどの説明が記載されています。

はじめて SUZAKU をお使いになられる方は、SUZAKU スターターキットガイドをご一読いただくことをお勧めいたします。



以下に開発に必要なものの一覧を示します。

表 5.1 開発に必要となるもの

	スターターキットに付属	最新版ダウンロードサイト	Xilinx	その他	FPGA開発に必須	Linux開発に必須
SUZAKU ボード(SZ130-U00 or SZ410-U00) AC アダプタ 5V D-Sub9 ピン-10 ピン変換ケーブル D-Sub9 ピンクロスケーブル ジャンパプラグ×2	○				○	○
NTSC 信号を入出力可能な装置 音声の Line 入出力が可能な装置 4 極ミニプラグ -RCA ピンプラグ×3 ケーブル 2 本				○	○	○
SUZAKU スターターキットガイド (FPGA 開発編)	○	○			○	
SUZAKU スターターキットガイド (Linux 開発編)	○	○				○
SUZAKU ハードウェアマニュアル	○	○			○	
SUZAKU ソフトウェアマニュアル	○	○				○
uCLinux-dist 開発者ガイド	○	○				○
atmark-dist 開発者ガイド	○	○				○
Linux ソフトウェア開発環境、ソースコード	○	○				○
SIV00-U00 回路図	○	○			○	
IP コア OPB-SIV00 or XPS-SIV00	○	○			○	
IP コア OPB-SIA00 or XPS-SIA00	○	○			○	
IP コア OPB-SIV00 or XPS-SIV00 DataSheet	○	○			○	
IP コア OPB-SIA00 or XPS-SIA00 DataSheet	○	○			○	
SUZAKU I/O AV ボード ハードウェアマニュアル	○	○			○	
SUZAKU I/O AV ボード ソフトウェアマニュアル	○	○				○
ADV7180 DataSheet				○	○	○

	スターターキットに付属	最新版ダウンロードサイト	Xilinx	その他	FPGA開発に必須	Linux開発に必須
ADV7171 DataSheet				○	○	○
TLV320AIC23A DataSheet				○	○	○
Xilinx ISE			○		○	
Xilinx EDK			○		○	
Xilinx Platform Cable USB もしくはそれ相当品			○		○	

6.電源

6.1. 電源系統について

SUZAKU ボード CON6 の+3.3V 入力からは絶対に電源を供給しないでください。AV ボードには、SUZAKU ボードへ+3.3V を供給する電源回路があります。CON6 から電源を供給した場合、機器を破損する可能性があります。AV ボードの CON5 もしくは CON6 から+5V の電源を供給してください。

また、改造等により電源を外部から供給したり、AV ボードから他ユニットに電源を供給したりしないで下さい。SUZAKU ボードと AV ボードは、電源シーケンスの関係から、お互いに電源を供給し合うような形になっているので、機器を破損する可能性があります。

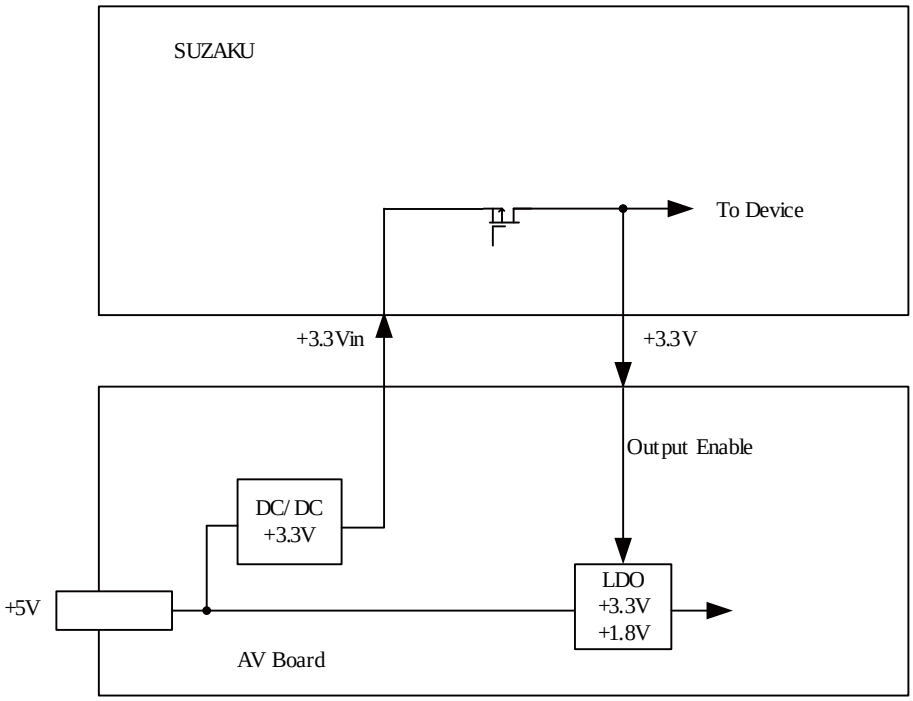


図 6.1 電源系統図

7.ブロック図

7.1. SIV00-U00 ブロック図

SIV00-U00 ボード単体の全体ブロック図を以下に示します。

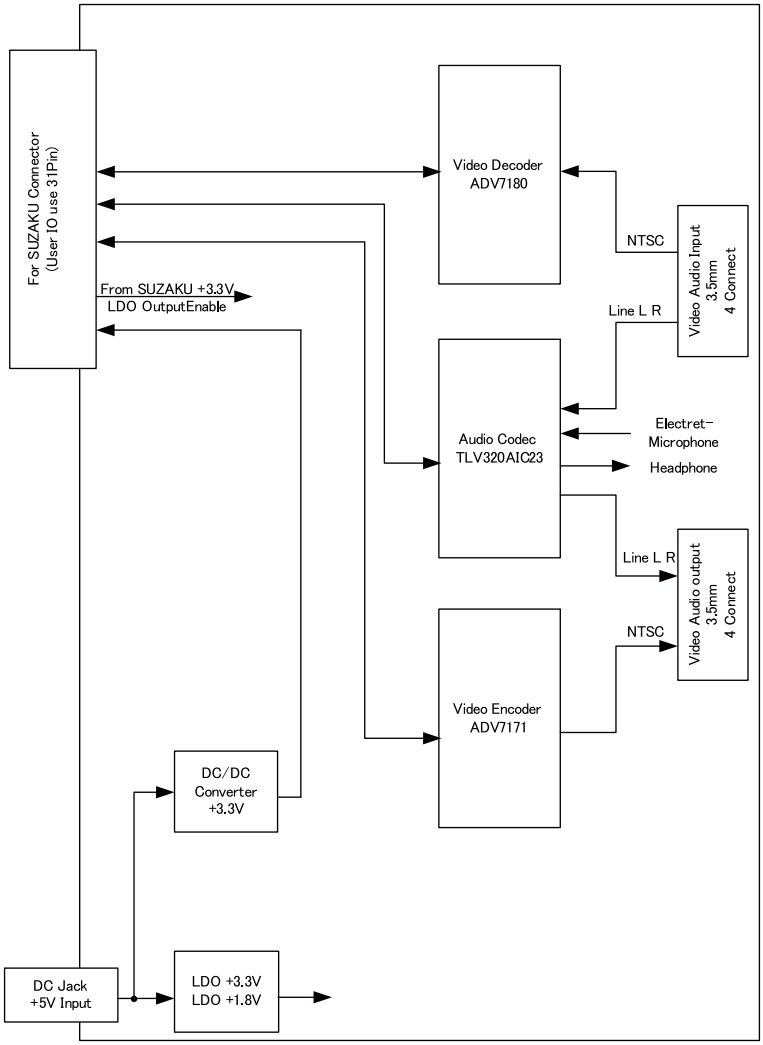


図 7.1 SIV00-U00 ブロック図

8.各種インターフェース仕様

8.1. 各種インターフェースの配置

AV ボードの各種インターフェースについて説明します。

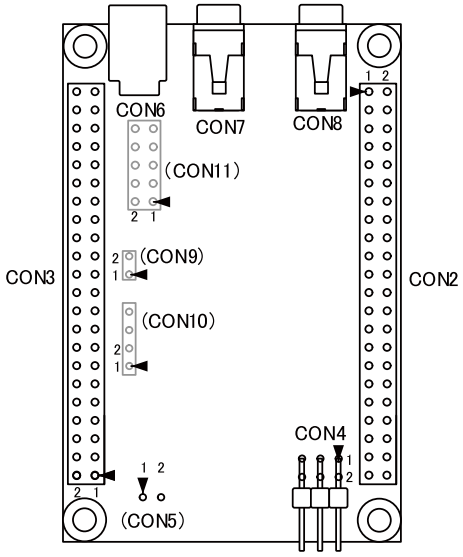


図 8.1 各種インターフェースの配置

表 8.1 各種インターフェースの内容

部品番号	説明
CON2	SUZAKU 接続コネクタ (SUZAKU CON2 と接続)
CON3	SUZAKU 接続コネクタ (SUZAKU CON3 と接続)
CON4	CONFIG 用コネクタ
CON5	+5V 入力コネクタ(未実装)
CON6	+5V DC Jack
CON7	AV 入力コネクタ
CON8	AV 出力コネクタ
CON9	マイクロホン 入力コネクタ(未実装)
CON10	ヘッドホン 出力コネクタ(未実装)
CON11	AV 予備入力 コネクタ(未実装)

8.2. CON2 SUZAKU 接続コネクタ

SUZAKU CON2 と接続します。

表 8.2 CON2 SUZAKU 接続コネクタ

番号	信号名	信号の方向 SUZAKU⇔AV ボード	機能
1	GND		グランド
2	+3.3V	→	+3.3V (SUZAKU 側から供給される)
3	CONF_C		CLK
4	CONF_I		D
5	CONF_O		DO
6	CONF_S		nCS
7	DEC_nINTRQ	←	割り込み要求
8	DEC_SFL	←	Video Decoder サブキャリア周波数ロック
9	DEC_P15	←	Video Decoder データ
10	DEC_P14	←	Video Decoder データ
11	DEC_P13	←	Video Decoder データ
12	DEC_P12	←	Video Decoder データ
13	DEC_P11	←	Video Decoder データ
14	DEC_P10	←	Video Decoder データ
15	DEC_P9	←	Video Decoder データ
16	DEC_P8	←	Video Decoder データ
17	COD_CLKOUT	←	クロック出力
18	COD_MCLK	→	(Audio Codec 外部クロック入力 : R58 の実装で接続)
19			誤挿入防止用
20	DEC_LLC	←	Video Decoder ラインロッククロック
21	GND		グランド
22	ENC_CLK_27M	←	Video Encoder　クロック
23	COD_BCLK	⇔	Audio Codec I^2S シリアルクロック
24	COD_LRCOUT	⇔	Audio Codec I^2S シリアルワードクロック
25	COD_DOUT	←	Audio Codec I^2S シリアルデータ
26	COD_LRCIN	⇔	Audio Codec I^2S シリアルワードクロック
27	COD_DIN	→	Audio Codec I^2S シリアルデータ
28	nRESET	→	Video Decoder Encoder リセット
29	IIC_SCLK	→	I^2C シリアルクロック
30	IIC_SDATA	⇔	I^2C シリアルデータ
31	ENC_SCRSTnRTC	→	Video Encoder サブキャリアリアルタイムコントロール

番号	信号名	信号の方向 SUZAKU⇔AV ボード	機能
32	ENC_CLOCK	→	Video Encoder クロック
33	ENC_P7	→	Video Encoder データ
34	ENC_P6	→	Video Encoder データ
35	ENC_P5	→	Video Encoder データ
36	ENC_P4	→	Video Encoder データ
37	ENC_P3	→	Video Encoder データ
38	ENC_P2	→	Video Encoder データ
39	ENC_P1	→	Video Encoder データ
40	ENC_P0	→	Video Encoder データ
41	GND		グランド
42	GND		グランド
43	+3.3Vin	←	+3.3V (SUZAKU 側に供給する)
44	+3.3Vin	←	+3.3V (SUZAKU 側に供給する)

8.3. CON3 SUZAKU 接続コネクタ

SUZAKU CON3 と接続します。

表 8.3 CON3 SUZAKU 接続コネクタ

番号	信号名	信号の方向 SUZAKU⇔AV ボード	機能
1	+3.3Vin	←	+3.3V (SUZAKU 側に供給する)
2	+3.3Vin	←	+3.3V (SUZAKU 側に供給する)
3	GND		グランド
4	GND		グランド
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

番号	信号名	信号の方向 SUZAKU⇔AV ボード	機能
21			
22			
23			
24	GND		グランド
25			
26	GND		グランド
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35	DEC_FIELD	←	(Video Decoder フィールド同期 : R56 の実装で接続)
36	DEC_VS	←	(Video Decoder 垂直同期 : R55 の実装で接続)
37	DEC_HS	←	(Video Decoder 水平同期 : R54 の実装で接続)
38	ENC_nBLANK	⇔	(Video Encoder ブランクコントロール : R53 の実装で接続)
39	ENC_FIELDnVS	⇔	(Video Encoder 垂直同期 : R52 の実装で接続)
40	ENC_nHS	⇔	(Video Encoder 水平同期 : R51 の実装で接続)
41			
42			
43	+3.3V	→	+3.3V (SUZAKU 側から供給される)
44	GND		

8.4. CON4 CONFIG 用コネクタ

SUZAKU コンフィギュレーション用コネクタです。SUZAKU と接続時、SUZAKU のフラッシュメモリにコンフィギュレーションデータを書き込むことが出来ます。

本コネクタと、SUZAKU の CON2 の 1 ピン~6 ピンがパターンで直接接続されています。

表 8.4 CON4 CONFIG 用

番号	信号名	I/O	機能
1	GND		グランド
2	+3.3V	O	+3.3V
3	CLK	I	SPI フラッシュメモリ　プログラム用

番号	信号名	I/O	機能
4	D	I	SPI フラッシュメモリ　プログラム用
5	DO	O	SPI フラッシュメモリ　プログラム用
6	nCS	I	SPI フラッシュメモリ　プログラム用

8.5. CON5 +5V 入力コネクタ

+5V±5%の電源を入力してください。穴径は 1.0mm、ピッチは 2.50mm です。

コネクタは実装されていません。

表 8.5 CON5 +5V 入力コネクタ

番号	信号名	I/O	機能
1	GND		グランド
2	+5V	I	+5V 入力

8.6. CON6 +5V DC-Jack

+5V±5%の電源を入力してください。AC アダプタは SUZAKU スターターキットの添付品等をご使用ください。(+5V 出力 EIAJ#2)

表 8.6 CON5 +5V 入力コネクタ

番号	信号名	I/O	機能
1	+5V	I	+5V センタープラスピン
2	GND		グランド

8.7. CON7 AV 入力コネクタ

AV 入力コネクタです。(型式：MJ-2135、メーカ：マル信無線電機)

AV 入力には 4 極 3.5mm ピンジャックをご使用ください。[1]

表 8.7 CON8 AV 入力コネクタ

番号	信号名	I/O	機能
1	AUDIO_IN_R	I	オーディオ Line 入力 右

[1]iPod 用 AV ケーブルをご使用になる場合は、下記のように接続してください。

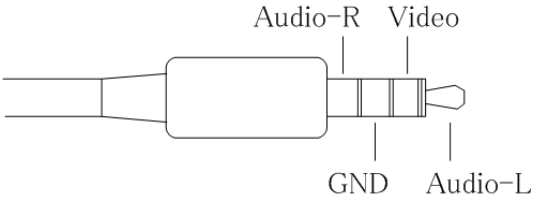
AV ボード　　iPod 用 AV ケーブル

Video(黄)　→　Audio-R(赤)

Audio-L(白)　→　Video(黄)

Audio-R(赤)　→　Audio-L(白)

番号	信号名	I/O	機能
2	GND		グランド
3	VIDEO_IN	I	ビデオ入力
4	AUDIO_IN_L	I	オーディオ Line 入力 左



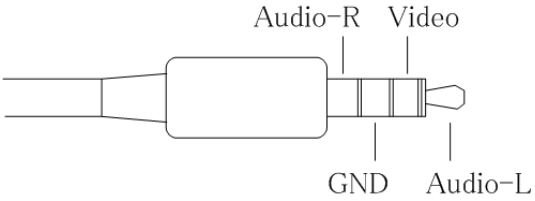
8.8. CON7 AV 出力コネクタ

AV 出力コネクタです。(型式：MJ-2135、メーカ：マル信無線電機)

AV 出力には 4 極 3.5mm ピンジャックをご使用ください。[1]

表 8.8 CON8 AV 出力コネクタ

番号	信号名	I/O	機能
1	AUDIO_OUT_R	O	オーディオ Line 出力 右
2	GND		グランド
3	VIDEO_OUT	O	ビデオ出力
4	AUDIO_OUT_L	O	オーディオ Line 出力 左



8.9. CON9 マイクロホン入力

マイクロホン入力コネクタです。穴径は 0.9mm、ピッチは 2.54mm です。

コンデンサマイクのみ対応(ダイナミックマイクは不可)です。

コネクタは実装されていません。

表 8.9 CON9 マイクロホン入力

番号	信号名	I/O	機能
1	MIC_IN	I	マイクロホン入力
2	GND		グランド

8.10. CON10 ヘッドホン出力

ヘッドホン出力コネクタです。穴径は 0.9mm、ピッチは 2.54mm です。

コネクタは実装されていません。

表 8.10 CON10 ヘッドホン出力

番号	信号名	I/O	機能
1	LHPOUT	O	ヘッドホン出力　左
2	GND		グランド
3	GND		グランド
4	RHPOUT	O	ヘッドホン出力　右

8.11. CON11 AV 予備入力 コネクタ

AV 予備コネクタです。穴径は 0.9mm、ピッチは 2.54mm です。

コネクタは実装されていません。

表 8.11 CON11 AV 予備入力コネクタ

番号	信号名	I/O	機能
1	AUX1	I	ビデオ 入力
2	GND		グランド
3	AUX2	I	ビデオ 入力
4	GND		グランド
5	AUX4	I	ビデオ 入力
6	GND		グランド
7	AUX5	I	ビデオ 入力
8	GND		グランド

9.ビデオ出力フィルタ

ビデオ出力を量子化する装置(デジタルテレビ等)に入力する場合、エイリアスを防ぐためにフィルタが必要となります。フィルタを使用する場合は、R47、R48、C50、IC5 に部品を実装し、R46 の部品をはずしてください。

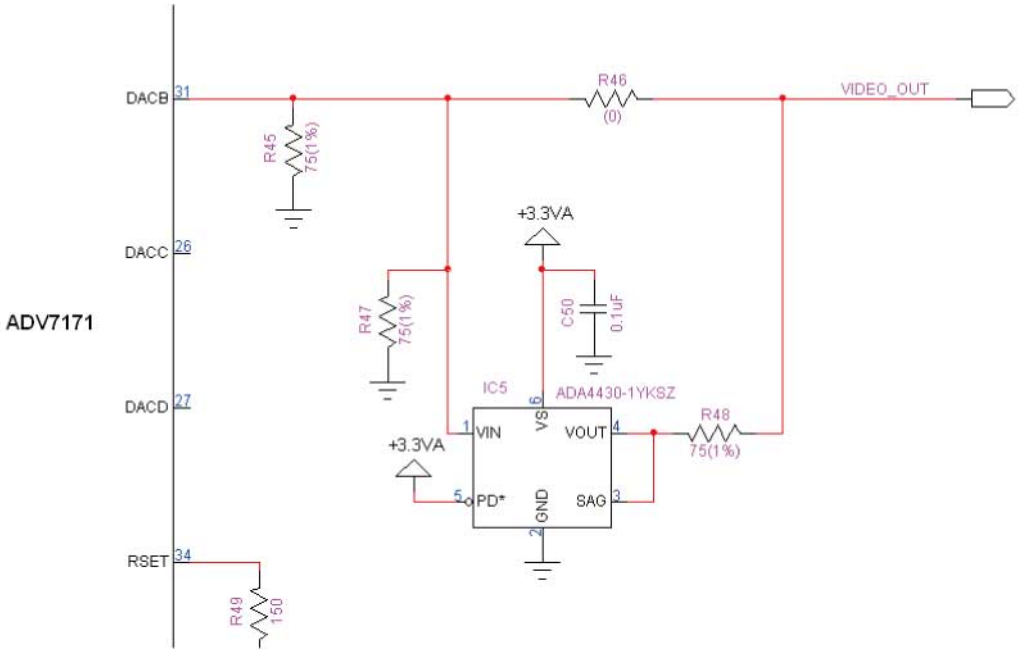


図 9.1 フィルタ部の回路

表 9.1 部品および作業

リファレンス	作業
R46	0Ω 抵抗をはずす
R47	抵抗 75Ω(1%)1608 サイズを実装
R48	抵抗 75Ω(1%)1608 サイズを実装
C50	コンデンサ 0.1μF　1608 サイズを実装
IC5	ADA4430-1YKSZ(アナログデバイセス)を実装

詳細につきましては、「AV ボード回路図」および「AV ボード部品表」をご参照ください。

10.基板形状図

AV ボードの基板形状を以下に示します。

〔単位：mm〕

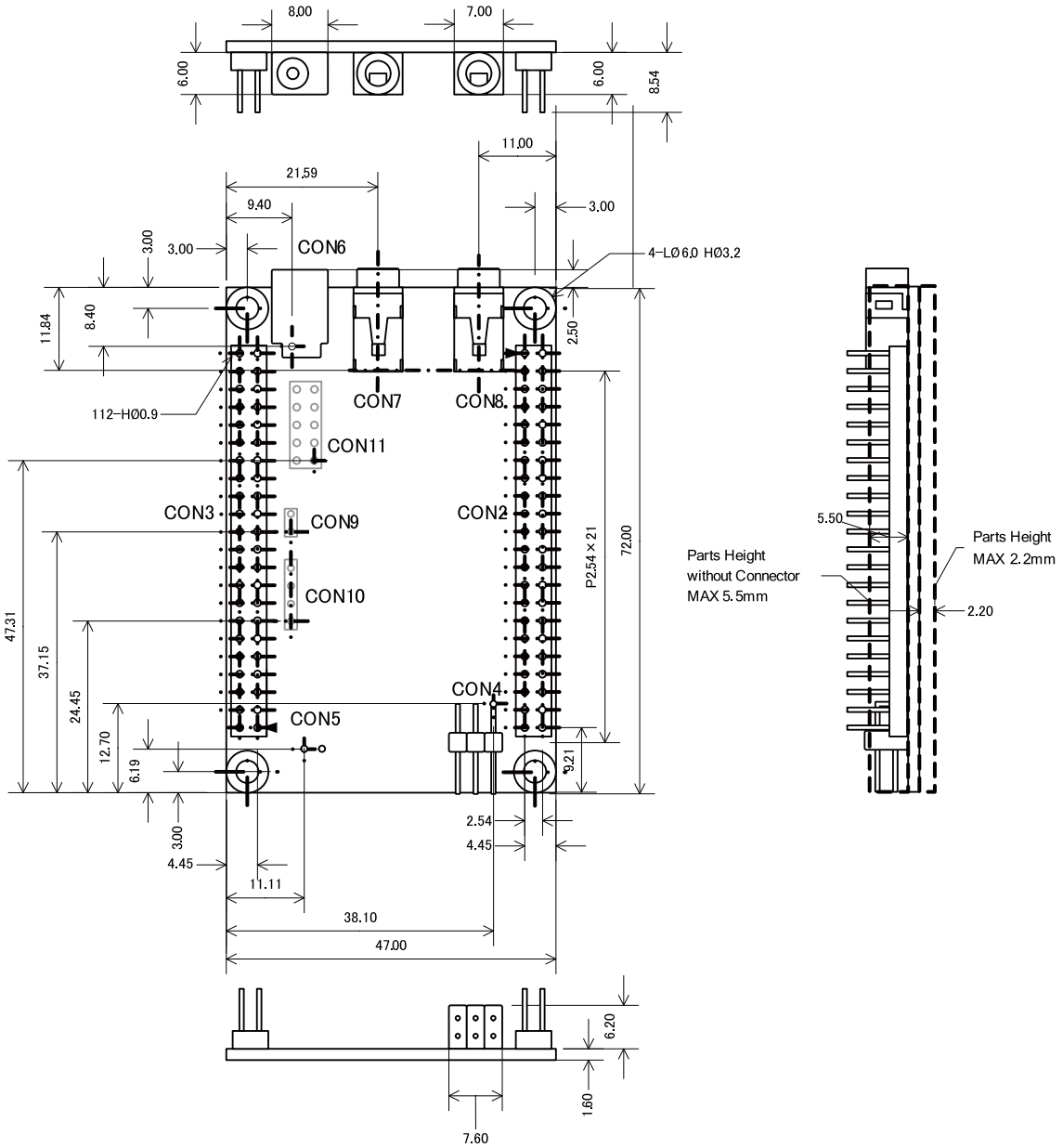


図 10.1 基板形状

SUZAKU ボードと AV ボードをスタックした場合の形状を以下に示します。

〔単位：mm〕

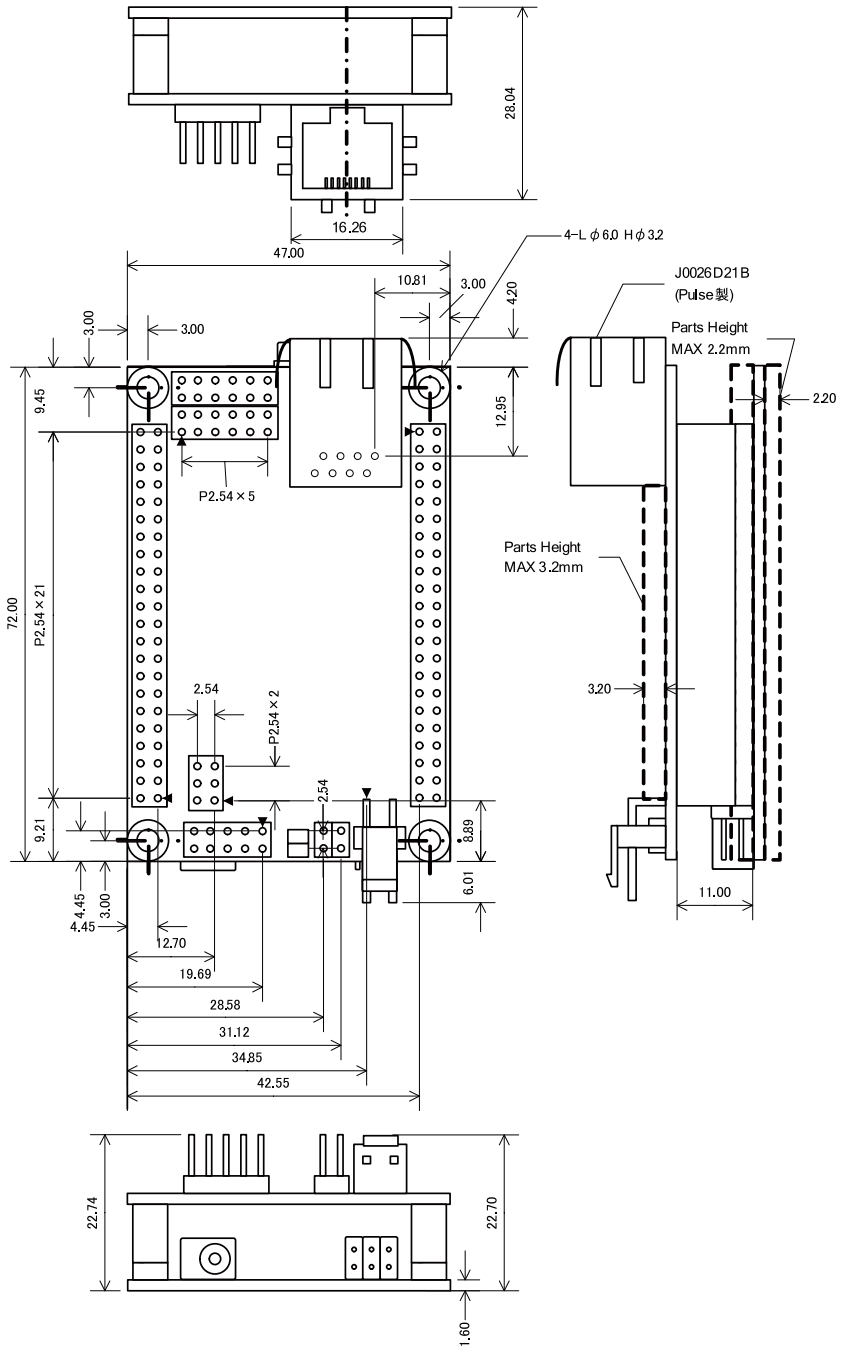


図 10.2 スタック時の形状

改訂履歴

バージョン	年月日	改訂内容
1.0.0	2008/01/18	・初版作成
1.0.1	2007/02/15	・各種インターフェース配置に 2 番ピンの情報追加
1.0.2	2008/02/19	・マイクロホン入力ピンアサイン修正
1.0.3	2008/09/26	・タイトルを英語表記からカタカナ表記に
1.0.4	2009/03/19	・参照先を記述する際の表記を統一 表記ゆれを修正
1.0.5	2009/07/17	・文字が読みにくい画像の差し替え ・本文のレイアウト統一
1.0.6	2009/07/29	・製品保証に関する記載を http://www.atmark-techno.com/support/warranty-policy に移動(2009/08/03 適用)
1.0.7	2010/09/17	・「図 10.1. 基板形状」、「図 10.2. スタック時の形状」単位の位置を変更 ・表のレイアウト統一 ・表記ゆれを修正 ・「5.2. 開発環境」、「表 5.1. 開発に必要となるもの」ダウンロードケーブルを Platform Cable USB に変更

AV Board ハードウェアマニュアル
Version 1.0.7
2010/09/17

株式会社アットマークテクノ
060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570